

第1回危険物UN対応部会（令和元年6月17日開催）

国連危険物輸送専門家小委員会第55回会合で検討される日本及び各国、各種団体から提出された提案について対応方法の検討を行った。主な提案は次の通りである。

- ・ モデル規則2.5.3.2.4（有機過酸化物のリスト）及びタンクインストラクションT23（有機過酸化物及び自己反応性物質の容器要件）へ新処方物を追加する提案
- ・ リチウム単電池及び組電池の試験について規定した国連試験及び判定基準マニュアル38.3.3(d)及び(g)を改正する提案
- ・ 隔離区分Sを考慮した火薬類の隔離区分の規制構造を明確化する提案
- ・ 分類試験の実施の必要性を判断する有用な基準が示されている国連試験及び判定基準マニュアル付録6（スクリーニング手順）の3.3(c)を改正する提案
- ・ 高エネルギー物質のサンプル輸送における温度管理に関するデータを得る方法として、示差走査熱量計（DSC）測定を国連試験及び判定基準マニュアル新20.3.4として規定する提案
- ・ 正味薬量を輸送書類へ記載しなければならない対象から区分1.4を除く提案
- ・ モデル規則4.1.1.3に規定された容器性能試験の要件が適用されない容器（P903(2)及び(4)：木製クレート、パレット等）には、モデル規則第6.1章に規定された質量及び容量制限が適用されない旨を明確化する提案
- ・ 高熱を発生する可能性がある物品を収納する容器の新たな性能試験として内部耐熱試験を追加する提案

…等